

リコール届出番号	外-2420	リコール開始日	平成 29年 7月 19日			
届出者の氏名又は名称	ボルボ・カー・ジャパン株式会社 代表取締役社長 木村 隆之 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>製作国：スウェーデン</td> </tr> <tr> <td>製作者名：ボルボ</td> </tr> <tr> <td>問い合わせ先：お客様相談室 0120-922-662</td> </tr> </table>			製作国：スウェーデン	製作者名：ボルボ	問い合わせ先：お客様相談室 0120-922-662
製作国：スウェーデン						
製作者名：ボルボ						
問い合わせ先：お客様相談室 0120-922-662						
不具合の部位（部品名）	1. 原動機（冷却装置） 2. 原動機（ブリーダーホース）					
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	1. エンジン冷却装置において、冷却水の温度制御が不適切なため、特定の外気温でエンジンを始動後、急発進等を行うと、冷却水の温度が急上昇することがある。そのため、冷却水の温度の影響によりシリンダーヘッド部に熱応力が発生して亀裂が生じ、亀裂部位からエンジンオイルが漏れ、漏れたオイルが高温の排気管等にかかり、最悪の場合、火災に至るおそれがある。 2. エンジン冷却装置において、エキスパンションタンクとエンジンをつなぐホース（ブリーダーホース）の耐熱性が不足しているため、特定の条件下（長期間のアイドリング状態等）のエンジン熱の影響により、当該ホースが劣化し、亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂部位から冷却水が漏れ、警告灯が点灯、最悪の場合、オーバーヒートに至るおそれがある。					
改善措置の内容	1. 全車両、クーラントバイパスバルブ内のバルブ機構を取り外して冷却水の温度制御を変更する。また、シリンダーヘッド部が受ける熱影響を低減させるため、エキゾーストガスを対策品に交換する。 2. 全車両、ブリーダーホースを対策品に交換する。					
不具合件数	国内： 1. なし 2. 39件	事故の有無	国内： 1. なし 2. なし			
発見の動機	1. 本国メーカーからの情報による。 2. 市場からの品質情報による。					
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール又は電話にて通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関紙へ掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外-2420のステッカーを貼付する。 					

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
ボルボ	DBA-AB4164T	「ボルボS80」	YV1AS485BB1144270～YV1AS485BB1149992 平成 23年 3月 9日～平成 23年 8月 1日	60台	1. 60台 2. 60台
ボルボ	DBA-BB4164TW	「ボルボV70」	YV1BW485BB1192097～YV1BW485BF1337417 平成 23年 1月 17日～平成 27年 7月 1日	2,696台	1. 2,696台 2. 2,636台
ボルボ	DBA-FB4164T	「ボルボV60」	YV1FW485BB1017526～YV1FW485BF1272102 平成 23年 3月 28日～平成 27年 7月 15日	12,299台	1. 12,299台 2. 12,054台
ボルボ	DBA-FB4164T	「ボルボS60」	YV1FS485BB2020974～YV1FS485BF2367377 平成 22年 12月 3日～平成 27年 6月 16日	5,486台	1. 5,486台 2. 5,404台
ボルボ	DBA-MB4164T	「ボルボV40」	YV1MV485BD2023394～YV1MV485BF2252369 平成 24年 12月 4日～平成 27年 7月 15日	15,559台	1. 15,559台 2. 15,559台
ボルボ	DBA-MB4164T	「ボルボV40クロスントリー」	YV1MZ485BE2042241～YV1MZ485BE2045597 平成 26年 3月 8日～平成 26年 7月 8日	199台	1. 199台 2. 199台
	(計4型式)	(計6車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成22年 12月 3日～平成27年 7月 15日	36,299台	1. 36,299台 2. 35,940台

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲内には、対象とならない車両も含まれています。